

伊達市 おかいこ 用具 Vol.10

コレクションカード

おかいこ用具のいろいろ～デニール測定器編～…糸の太さを示す単位「デニール」を測定することは、生糸の品質性や均一性をはかる大事な工程であった



伊達市保原歴史文化資料館は、伊達のお蚕様の歴史を学べる展示「伊達とお蚕様の本場物語」を開催しております。このコーナーでは、国重要有形民俗文化財指定を受けた伊達市所蔵のおかいこ用具をカード形式でご紹介します。

- 【あそび方】①切り取って集めよう（眺めるだけで楽しい！）
- ②説明を読んで学ぼう（展示の予習になる！）
- ③じゃんけん（左上）や、おかいこ度（右下）で競おう！

No. 028 検尺器 1

デニールの測定は糸の長さ450㍍の重さを基準とするため、検尺器を400回転させ450㍍の糸をはかった。取手を回すと糸が回転して糸を巻き取る。回転数は回転指示器で確認できる。明治期に使用。

No. 029 検尺器 2

糸枠に生糸を掛け、取手を回すと箱内の歯車が順次運動し、糸枠が回転して糸を巻き取る。回転数は回転指示器で確認できる。400回転させてデニールの測定の基準450㍍をはかる。大正から昭和期にかけて使用。

No. 030 検位衡

検尺器で長さを測った生糸を検位衡の糸鉤に掛け、弦月板の指標が示す数値によって糸の単位デニールを読み取る。明治期に使用。450㍍が0.05グラムの場合は1デニールとなった。

伊達な 国際交流員・ALTの つれづれコラム → vol.106 ←



現在の価値観は異なつており、これまでの努力が大きく後退しているのを見るのは非常に残念です。それでも私は、これまで通り自分自身の価値観に従って生きていきます。（イボンヌ）

「DEI」
DEI
DEIは「ダイバーシティ（多様性）、エクイティ（公平性）、インクルージョン（包括性）」の略です。アメリカの国際ニュース専門局CNNによると、多様性とは、人種、年齢、民族、宗教、性別、性的指向、身体的能力、その他の社会的アイデンティティなど、あらゆる違いを受け入れること。公平性とは、すべての人を公平に扱い、平等な機会を提供すること。そして包容性とは、すべての人の声を尊重し、さまざまな背景を持つ人々が自由に

意見や視点を表現できる文化をつくること」と説明されています。
アメリカで私の子どもたちが通っていた学校では、子どもたちが自分の家族が話している言語でのあいさつを書いたり、アジアにルーツを持つ息子の意見を丁寧に聞いてくれたりと、こうした取り組みを実際に感じることができます。また、性別の固定観念に当たはまらない人のために、「they / them」というジェンダーニュートラルな代名詞も使われるようになりました。

英訳版を見る▶



にじいろのだて(男女共同参画に関するさまざまな用語を紹介)

『パナティー・ハラスメント(パタハラ)』…育児休業制度などを利用しようとする男性社員への嫌がらせ・不当な扱いのこと。パナティーとは英語で“父性”を意味します。

